

市民、事業者、行政という異なる3つの部門が、それぞれの特性と立場をお互いに尊重し、共有するまちの将来像の実現に向けて、連携協力することで、単独では得られなかった相乗効果の高い協働まちづくりを実現していきます。

「市民と行政の協働まちづくりのための指針」より

発行/流山市
編集/秘書広報課

〒270-0192 千葉県流山市平和台1-1-1 / 流山市のホームページアドレス
☎04-7158-1111 (代表) / <http://www.city.nagareyama.chiba.jp/>

元気の源は市民活動 街の活性化はあなたの一歩から

進む 協働の街づくり

あらゆる分野で市民団体が躍進

少子高齢化や国際化、情報化など現代社会の課題は多岐にわたっています。一方で、私たちの暮らしや価値観は多様化し、行政へのニーズも広範囲にわたっています。このような中、市民の皆さんと事業者、大学、そして行政などが手を携えて、協

働のまちづくりが始まっています。ことしから、いわゆる団塊の世代と呼ばれる方々が大量に定年退職を迎えます。地域で、仲間を得て、何かを始めたいという方々のために、今回は市民活動を特集しました。

NPO法人やボランティアグループ、文化

サークルやスポーツ団体、そして自治会など

市内では、数多くの団体がそれぞれの分野で

市民、事業者、行政による「協働のまちづ

くり」の実現に向けて、その担い手のひとつである公益的な市民活動が元気に育まれる推進

拠点として昨春オープンした市民活動推進センター。

このセンターは、市



3月17日、流山おおたかの森駅コンサートで、流山と野田の両市立南部中学校吹奏楽部200人による若さあふれる演奏や踊りが約5000人の聴衆を魅了しました

3月17日、文化会館で団塊の世代を対象に「2007年問題」をテーマにした講演会が開催されました。東京経済大学の関沢英彦教授を講師に、退職後、地域で生きがいを見出せる活動をどのように始めたらよいかなどを学びました。また、この日、流山おおたかの森駅コンサートで中学生の若々しい吹奏楽が観衆を魅了しました。写真。これは、音楽好きな市民が集まって実行委員会を組織して企画運営しているものです。平成19年度予算では、市民活動の拠点となる公民館や野球場など生涯学習施設の改修を行います。生涯学習施設は、もちろん学校や公園、商店街、駅など皆さんの身近なところに活動の場は広がっています。

活動の拠点を充実

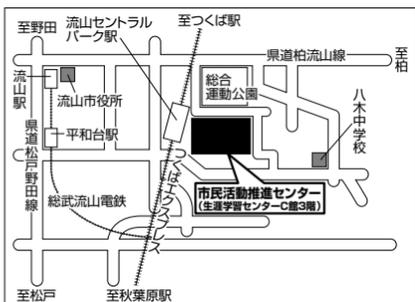
市民活動推進センターの利用を

活発な活動を展開しています。県内でNPO法人の第一号の誕生も流山市でした。介護や映画、環境や防犯などさまざまな方面で、中高年者

を中心に行政との協働によるまちづくりが進んでいます。自宅のパソコンでホームページを見て、図書館で関係図書を読んでも、数多くのサークルやNP

O法人などがあります。が、なかなか参加するチャンスがないという方も少なくありません。今回は、今年度オープンした生涯学習センター内に設置されてい

る市民活動推進センターをはじめ、「まちづくり達成度アンケート」の結果と合わせて、数ある市民活動の中からその一部をご紹介します。



【交通】TX流山セントラルパーク駅3分
・利用時間：9時～17時
・休日：毎月第3水曜、土・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)
※ただし、事前予約で平日夜間と土・日曜、祝日もご利用できます
事前予約の対象は会議室の利用です。
・平日の夜間(17時～21時)
・土・日曜、祝日(①9時～13時、②13時～17時、③17時～21時)
市民活動推進センター ☎7150-4355



3階に市民活動推進センターがある生涯学習センター

市民活動推進センターには、大小6つの会議室をはじめ印刷機などを備えた作業室、貸し出し用ロッカー、情報コーナー、図書コーナーなどがあります。
市民活動推進センター ☎7150-4355

このセンターは、市拠点として昨春オープンした市民活動推進センター。このセンターは、市

民活動の場としての施設等の提供や市民活動に関する情報の収集・発信、多様な市民活動団体の交流、ネットワーキング、コーディネート支援、相談などを行っています。流山セントラルパーク駅前の生涯学習センター3階にあり、ご希望が多い土・日曜、祝日や平日の夜間も予約利用ができます。ご利用できる方は、主として市内で公益的な市民活動を行っている市民団体、または、これから公益的な市民活動を行おうとしている個人やグループなどです。会議室や作業室のご利用には登録が必要です。また、交流サロンなどのフリースペースは、登録がなくてもご利用いただけます。センターには、大小6つの会議室をはじめ印刷機などを備えた作業室、貸し出し用ロッカー、情報コーナー、図書コーナーなどがあります。

ちの街 協働で開催

中学校では3月14日、小学校では16日、卒業式が行われました。小学校や中学校では、PTAをはじめ通学路の安全を守るボランティアなど地域の力が子どもたちの大きな支えになっています。いま、市内では学校や企業、そして自治会などの市民団体が一緒になってさまざまな活動を展開しています。まちづくり達成度アンケートの結果と最近の市民団体の活動などを紹介します。

ボランティアを築いて

まちづくり達成度アンケート 成果指標の数値把握

コミュニティ活動などが年々充実

まちづくりがどのくらい進んでいるのか、流山市総合計画の将来都市像や施策の達成度を評価し、税金の使い方を検討するために、市では「ながれやま

まちづくり達成度アンケートを実施しています。その集計結果がまとまりました。この調査は、昨年11月に、20歳以上の市民の皆さんのうち無作為で抽出した約3000人を対象に行ったものです。行政評価システムにおける「成果指標」の数値を把握するために実施したもので、業務で得られたその他の指標とともに、まちづくりの課題や方向性を検討するための貴重な資料として活用しています。アンケート結果は毎回、上下するものですが、その要因を分析し事業

の改善に努めています。これにより、コミュニティ活動や生涯学習活動などの「成果指標」は、年々充実してきました。今回は、こうした結果を踏まえ、市民団体の活動などを紹介します。なお、アンケート内容は、見直しを行う場合があることから、同一条件でないアンケート結果も含まれます。また、経年による指標値の取得を目的としていることから「満足している市民の割合」といった中に「普通」、「どちらとも言えない」という選択肢が含まれている場合等もあります。アンケート結果の詳細は、ホームページや情報公開コーナーなどでご覧いただけます。

田和郎会長）が開催したものです。この広報ながれやまも視覚障害を持つ方々のために朗読や点訳のボランティアの皆さんが毎号ご協力くださっています。

市では、身体障害者福祉会などが参加した委員会や公募の市民研究会などが話し合い昨年、流山市交通バリアフリー基本構想を作成しました。市内には障害を持つ方々の諸団体や、そのサポートを行う多くのボランティア団体などがあります。

住まいの外国人の皆さんと交流を深めました。流山市国際交流協会（佐藤元子会長）が主催しました。同協会では、行政と協働して文化会館で行われている

自主事業としての英語、韓国語、スペイン語の語学講座、国際交流まつりなどさまざまな事業を通して国際理解を深める活動を続けています。



裁判員制度を学んだ講演会では、手話通訳や要約筆記も行われました

ハンディ越え一緒に 障害のある人もない人も

地域ぐるみの福祉が行われていると感じている市民の割合は平成16年度で68.9%だったものが、18年度は74.2%。ボランティア活動をしている市民の割合は、同比較で10.3%が12.5%となっています。

3月3日、初石公民館で、「ご存知ですか？ 裁判員制度あれこれ」という講演会が行われ、約40人が裁判員制度を

学びました。裁判員制度では、当然、障害を持った方々も選ばれることになることから、制度の概要を学び、ア

お互いに理解を 身近な国際交流活動

外国人と交流している市民の割合は、平成16年度で22.7%だったものが、18年度では27.7%となっています。

3月11日、初石公民館で語学講座成果発表



初石公民館で行われた語学成果発表会には106人が参加し、衣装や紙芝居、演劇などで楽しく交流を深めました

会が行われ、各語学講座の皆さんが市内にお

自治会、子育てサークルなどの子育て活動に参加した保護者の割合は、平成16年度で38.1%だったものが、18年度では45.9%となっています。また、必要ときに子どもの面倒をみてもらえる人がいる保護者の割合は、同比較で71.3%だったものが73.5%となっています。

子育ての情報交換も 乳幼児から青少年まで

自治会、子育てサークルなどの子育て活動に参加した保護者の割合は、平成16年度で38.1%だったものが、18年度では45.9%となっています。また、必要ときに子どもの面倒をみてもらえる人がいる保護者の割合は、同比較で71.3%だったものが73.5%となっています。

3月25日、流山市おたかの森出張所ロビーの日曜情報発信センターで「子育てサロンへようこそ」が行われ、乳幼児を連れた多くの家族でにぎわいました。企画運営しているのは、保育ボランティアひだまり（丸山美子代表）の皆さん。流山おもちゃ病院やオカリナサークルなどの方々も参加されました。子育ての不安や悩みを気軽に話し合える仲間づくりの場を提供しようと活動されています。市内では、青少年育成会議をはじめ読み聞かせ活動なども展開している図書館ボランティア、キャンプなどを行っている流山市青少年相談員などさまざまな団体が子どもたちのために活動を続けています。



3月2日に文化会館で行われた子育てサロンでは紙コップを使ったひな飾りづくりに挑戦

市政への提言も 広がる市民参加の機会

市政に参加しやすいと感じる市民の割合は、平成16年度に58.7%だったものが、18年度は62.5%となっています。また、住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合は同比較で49.6%が58.6%となっています。

み再発見シンポジウム」が開催されました。市では、自治運営の基本理念や協働の仕組みなどを定め、まちづくりの基本ルールとなる「自治基本条例」について、自治基本条例策定市民協議会（江川寿夫代表）が原案作りを進めるなど市民と協

み再発見シンポジウム」が開催されました。市では、自治運営の基本理念や協働の仕組みなどを定め、まちづくりの基本ルールとなる「自治基本条例」について、自治基本条例策定市民協議会（江川寿夫代表）が原案作りを進めるなど市民と協

みんなで築くわたしたち

地域デビューをお手伝いする催しも



流山北小学校の卒業式では毎日、通学路を見守ってくださったボランティアの方々をご招待して、卒業生からお礼の言葉が贈られました。小学校をでていく児童と同じように、定年退職を迎え地域に帰る方々なども多数、しゃいます。中学校などの新しい環境に早く慣れて青春を、人生を充実させていく旅立ちの季節です。

私たちが旅立ちの春

子どもとの交流も

地区社協や老人クラブ等

生きがいを感じる高齢者の割合は、平成16年度で77・7%だったものが18年度には88・5%となっています。

1月26日、西深井小 学校で、新川北部地区



西深井小学校では、けん玉やあやとりなどの昔遊びを中高年の皆さんが児童に伝授

社会福祉協議会(小倉卓郎会長)が主催した昔遊び教室が開催され、地域の中高年者と児童が交流を深めました。市内には小学校区単位に15の地区社協があり、また、流山市老人クラブ連合会(玉川定雄会長)所属の老人クラブも79団体あり、高齢者の生きがいづくり活動を展開しています。公民館のゆうゆう大学や県生涯大学東葛飾学園などの高齢者を対象とした学習の場も充実しています。また、「茶話やか広間」や「交差点」等の地域の高齢者が気軽に集える場を提供するためNPO法人なども生きがいを見出す機会づくりを進めています。

活動は楽しく元気に

NPO法人 国連支援
交流協会流山支部長
時任 きよ子さん



時任さん

私は、団塊世代の「ただのおばちゃん」です。かつては保育士だったのですが、いまは、NPO法人で平和や環境をテーマに活動が続いています。

ノーベル平和賞受賞者でケニアの環境・天

然資源副大臣マータイさんの「もったいない運動」やグリーンベルト運動に共鳴して、市内でケナフを植える活動などにも参加しています。昨年は、流山グリーンチェーン戦略の関係で、井崎市長と一緒に、マータイさんと直接お会いする機会を得られ感激しました。ボランティア活動の一番の楽しさは、こうしていろいろな方々とお会いできることと、「元気」をいただくことです。ボランティア活動を続ける最大の秘訣は、活動を楽しむこ

とです。わたしたちの活動では、講演後に必ずミニコンサートをセットで開催して、参加者に楽しんでいただいています。ボランティア

ア活動を楽しめば、ま

しまれながら若くして



井崎市長からの
メッセージ
市民活動で
夢を実現

障害を持つ方々を一般車で送迎するために、

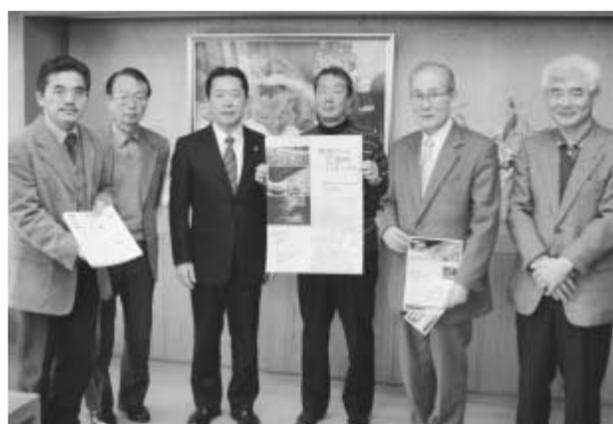
県内で初めてセダン特区を得た流山市。その中心となったのはNPO法人の熱意でした。「流山おおたかの森」という駅名も、地道な市民団体の活動によって、オオタカが営業する森が保存されたからこそ名付けられたもの。モンゴルの心臓病の子どもたちを救おう、アジアから平和を訴えよう、難病児を支援し

ようという各チャリティイコンサート、北朝鮮による拉致被害者の救出を願って行われた写真展や講演会など、そのすべてが無報酬、手弁当で東奔西走された市民の皆さんの情熱によつて実現されました。いま、多くの方々が大型連休のグリーンフェスティバルに向け準備をしてくださっています。また、昨年、惜

参加して、見て、聞いて、得して
見本市を開催
5月12日、生涯学習センターで

まちネット流山(伊勢良一理事長)は、市との共催で「地域で楽しむ見本市」に参加して、見て、聞いて、得して帰ろう」を開催します。「趣味を広げたい」、「文化に親しみたい」、「人の役に立ちたい」など多くの方が、地域ライフを楽しみたいと考えています。ただ、なかなかきっかけが

5月12日(土) 15時~18時▽場所▽生涯学習センター▽定員▽80人(先着順)▽参加費▽500円(交流会参加者のみ)▽内容▽見本市(生涯学習、市民活動、コミュニティビジネス)、質疑、交流会▽申し込み▽電話またはEメール komyuniti@city.nagareyama.chiba.jp 市民活動推進センターへ
〒271-5043
55



3月2日、流山まちなみ会の皆さんが市役所を訪れ、同会が作成した「ながれやま南部桜と春の散策マップ」を寄贈

3月21日、生涯学習センターで、流山まちなみ会(野口允昭会長)と千葉大学工学部環境デザイン研究室の共催による「流山のまちなみ」を開催しました。市内には小学校区単位に15の地区社協があり、また、流山市老人クラブ連合会(玉川定雄会長)所属の老人クラブも79団体あり、高齢者の生きがいづくり活動を展開しています。公民館のゆうゆう大学や県生涯大学東葛飾学園などの高齢者を対象とした学習の場も充実しています。また、「茶話やか広間」や「交差点」等の地域の高齢者が気軽に集える場を提供するためNPO法人なども生きがいを見出す機会づくりを進めています。



3月18日、流山おおたかの森駅前で行われた流山フィルハーモニー交響楽団のミニコンサート

関心のあることから始めよう 笑顔のおつきあいで 心も身体も健康に



空き店舗を活用した「ふれあいホール」で、いすにかけたまま軽体操

一緒に健康づくりを 商店街でも健康まつり

健康づくりの実践度は、平成16年度83.9%だったものが、18年度は89.3%となっています。江戸川台駅前商店街「ふれあいホール」で、3月4日、「一日健康まつり」が行われ、350人の参加者が軽体操などを楽しみました。

いすに座ったままの軽体操を指導してくれたのは、流山市では、皆さん。流山市では、コミュニケーションスポーツの集いなど、いつでもだれでも気軽に参加できる健康づくりのサークルも数多くあります。また、流山市体育協

身近な環境を考える 緑化などで行政と協働も

自宅の庭等に花や庭木を植えるなど自ら緑を育てている市民の割合は、平成16年度で62.6%だったものが、18年度は64.8%となっています。3月4日、市野谷の森でNPOさとやま(恵良好敏理事長)の野鳥観察会が行われ30人の愛好家が、ウンやマヒワなどのバードウォッチングを楽しみました。縮めくりにオオタカのつがいの飛翔も見られ満足のいく観察会となりました。



NPOさとやまは毎月第1日曜日に市野谷の森で巣箱替えや下草刈りなどの活動を続けています

会は、体育協会としては珍しいNPO法人を取得して体育施設の指定管理者としても活躍しています。健康づくりは、ひとりでも始められますが、ご家族やグループで楽しむのも長続きの秘訣かもしれませんね。

市民の手で第9を 公募で12月の舞台目指す

芸術文化活動をしている市民の割合は平成16年度で35.9%だったものが、18年度では42.9%となっています。また、生涯学習の情報が充実していると感じている市民の割合は同比較で70.9%が72.9%となっています。

流山市制40周年記念第9演奏会実行委員会(唐沢昌伸会長)では、市民によるベートーヴェン交響曲第9番演奏会を計画しています。そこで、舞台で一緒に歌う市民を募集します。管弦楽演奏を流山フィルハーモニー交響楽団、合唱指導を流山市合唱連盟と流山市音楽

家協会が行い、楽譜が読めない方や初心者の方のための指導も行って音楽を愛する市民と一緒に演奏会をつくりあげていこうという試みで

それぞれの団体が合同で環境を考えるシンポジウムやパネルディスカッションなどを開催しています。

金属盗にご用心! 防犯活動にご協力を

3月15日、東深井2号公園でステンレス製の車止めが盗まれるという事件がありました。全国で側溝のふたや門扉などの窃盗が続いています。市では、道路や公園のパトロールを強化していますが、行政だけでは市内全域を



把握しきれません。市内では、169自治会のうち50自治会で自主防犯パトロール隊が組織されています。写真。買い物や散歩を小学生の通学時間に合わせるだけでも地域を守ります。みんなで犯罪のない安全で安心して暮らせる街を築きましょう。自主防犯組織については、生活安全課 ☎7150-6312

お気軽に 問い合わせを

「どこに行けば市民団体の連絡先が分かるのですか」、「誰に聞いたら活動内容を紹介してもらえますか」というお問い合わせをよくいただきます。今回、特集でお知らせ

- せしたサークル以外にも多様な団体や機関がさまざまな分野の活動を続けています。お問い合わせ先は、その活動分野などによって異なりますが、お気軽にお問い合わせください。
- ▽ボランティア団体
流山市ボランティアセンター ☎7159-4355
- ▽文化団体・青少年団体
生涯学習課 ☎7150-6106
- ▽障害者団体・高齢者団体
社会福祉協議会 ☎7159-4735
- ▽NPO法人や市民活動全般について
市民活動推進センター ☎7150-4355

公募による補助金 10事業が報告 4月15日には公開審査

3月11日、生涯学習センターで市民活動団体公益事業補助金認定事業の報告会が行われました。今年度から始まった公募、公開審査による市民活動団体公益事業補助金。この認定を受けた10事業を実施した団体から、1年間の活動の実績についてそれぞれの報告が行われた。今年度から始まった公募、公開審査による市民活動団体公益事業補助金。この認定を受けた10事業を実施した団体から、1年間の活動の実績についてそれぞれの報告が行われた。今年度から始まった公募、公開審査による市民活動団体公益事業補助金。この認定を受けた10事業を実施した団体から、1年間の活動の実績についてそれぞれの報告が行われた。

